

2025 年度「学生支援に関する基礎研修講座」開催の結果報告について

2025 年 9 月 5 日

2025 年 8 月 28 日（木）、29 日（金）の 2 日間対面により「学生支援に関する基礎研修講座」を開催し、国立大学職員 6 名、私立大学・短期大学職員等 31 名、合計 37 名の受講がありました。

8 月 28 日（木）には基礎研修講座に先立ち、無料公開講演会（題目：高等教育の現状と課題について－「知の総和」答申－、講師：文化庁 審議官 松坂浩史）を実施しました。

講義 1

濱中義隆 国立教育政策研究所高等教育研究部長から「高等教育は改善したのか」について、高等教育の「あるべき姿」の設定、とは、②2000 年代以降の高等教育政策、③学生の「学習行動（学習時間）」への着目、④授業の予習・復習、課題の時間の变化、⑤諸外国との比較、⑥授業外学習時間の規定要因、等について具体的根拠を示しながら説明が行われた。

講義 2

川上忠重 法政大学 大学評価室長・理工学部教授 から「学生 FD 活動について－学生との「協働」について考える－」について、①学生 FD とは、学生 FD の学生の役割とは、②学生との協力から「協働」へ、③教員・職員・学生協働の可能性、の説明が行われた。引き続き、「学生との協働」の方向性について、目的・意義、学生の意見をどう反映するかなどのグループワークが行われ、各グループから検討結果が発表され、情報共有が図られた。

講義 3

山崎めぐみ 創価大学 学士課程教育機構教授から「学生支援としてのアカデミック・アドバイジングー情報収集・吟味・決定力を育むアプローチー」について、①大学教育へのアクセスについて、②主体的・自律的な学修者について、③各大学のシラバスの主体性・自律性とは、④学生の多様性と背景について、⑤「学生の自律」に向けての具体的事例について、⑥アカデミック・アドバイジングとは、等について説明が行われた。グループワークは計 7 回行われ、その成果について情報共有が図られた。

講義 4

出光直樹 横浜市立大学 アドミッションズセンター専門職・学務教授から「ユニバーサル時代の我が国の大学進学ー正解から納得解へー」について、①日本の大学入試の実像、②

世界の高大接続・大学進学、③中途半端な日本の高大接続改革、④当事者の視点で大学進学を考える、等について説明が行われた。また事前に課題が受講生に示され、各自のワークシートに基づきグループワークが行われ、そのグループでの成果が発表された。

講義 5

児美川孝一郎 法政大学 キャリアデザイン学部教授から「インターンシップの課題－困難と対応策－」について、最初に事前課題 1 のグループワークが行われ、各チームからその成果の発表が行われた。引き続き①大学がインターンシップに取り組むとは、②インターンシップとは、等について説明が行われた。休憩をはさみ事前課題 2 のグループワークが行われ、各チームからその成果の発表が行われた。その後③大学教育の本来の役割、④社会正義のキャリア支援について説明が行われた。また、グループワークの成果についても情報共有が図られた。

また対面開催としたので、両日ともにグループ別懇談会を実施、グループワークで話し足りなかったことや、名刺交換、情報交換の場として活用いただきました。